

# 船橋障害者自立生活センター ニュース

1994年8月8日発行 第7号

発行所：船橋障害者自立生活センター

〒273 船橋市湊町1-6-12

郵便振替「00140-9-609088」

・FAX：0474-32-4554

発行・編集人：杉井和男

## 94年度総会開かれる

船橋障害者自立生活センターの第3回目の総会が、去る4月24日、船橋市中央公民館で開かれました。出席者は約30名で、障害を持つ会員の参加が少なかったのが残念でしたが、今後の活動をめぐって議論が行われました。

会議では、来賓として野田・衆議院議員、船橋市の鈴木・福祉部長、市社協の飯田・常務理事、鷺見・市ボランティア連絡会会長、山口・連合船橋地区協議会会長などをお迎えして、運営委員の山崎真弓さんの司会で始まりしました。来賓の方々に激励のご挨拶をいただいた後、議長に田沼敏夫さんを選出して議事に入りました。93年度の事業報告と決算報告の中では、昨年度は念願だった事務所を開設し、介助者派遣を始めとして、少しずつ活動の基礎を固め、幅を広げてきていることが報告されましたが、一方で、当面の財政基盤の確立や人材の確保など、乗り越えなければならない問題も山積しており、特に94年度の予算案をめぐっては、見通しの甘さなどを心配する声もあがりました。また、新年度の事業計画の説明の一環として、船橋市が今年度より創設した介助料の助成制度について船橋市の木村・障害福祉課長から詳しい説明があり、またこの制度の制定に伴って、介助料を改訂し、同時に手続きの一部を変更することが提案されました。各議案とも、基本的には事務局の提案通りに承認されましたが、その執行には会員の皆様をはじめとする多くの方々のご協力が不可欠です。引き続き、ご支援、ご協力をお願いいたします。

# 「自立生活プログラム」終わる

## －福祉を学び、調理実習にも挑戦－

当センターとしては第3期目の「自立生活技能プログラム」が、5月19日から7月21日までの毎週木曜日、十回にわたって行われました。これは、自立生活に必要な知識や技能を出来るだけ実践的な形で身につけようというもの。今回は「船橋」という地域にこだわってシリーズを組み、参加者は多くはありませんでしたが、内容的には充実していたとおもいます。

特に、7回目には「船橋の福祉を知ろう」というテーマで船橋市障害福祉課の木村課長を講師にお迎えして、お話しをお聞きしました。当日は、国レベルのマクロのお話しから始まり、市内の障害者の状況や実施している施策の一つ一つにいたるまで、豊富な資料を交えて詳しくお話していただきました。その中で、私達は、一口に「障害者福祉」といってもその幅は非常に広く、高齢化社会の進展に伴って、中身としては「高齢者福祉」と重なりあう部分も近年多くなっていることなどを学びました。そして、何よりも市内在住の障害者が予想以上に多数にのぼっていることに驚き、一人でも多くの方が私たちの仲間に加わってくれるように願わずにはいられませんでした。

また、5回目には「菜の花の会」というボランティアグループの皆さんに教えていただきながら、初めての「調理実習」としてサンドイッチづくりに挑戦しました。参加者が男の障害者ばかりだったこともあって(?)、第一関門の材料の買い物から冷や汗の連続。野菜やハムなどを切ることだけでもほとんど初めての経験で、普段、いかに家族などに依存した生活をしているかを実感しました。

お忙しい中をおいでいただいた講師の先生方には改めてお礼申し上げます。

なお、次期の「自立生活プログラム」は、来年の一月からを予定していますので、お誘い合わせのうえ多くの方のご参加をお待ちしています。

## 介助部門の現況とその展望

(副代表・介助派遣担当) 山本 明

センターの「介助者派遣事業」は、平成5年6月から試験的に開始し、現在利用登録者数は13名。介助スタッフ登録者数は27名。今年度の介助者派遣数は、7月28日現在で20件。

利用者と介助者との間ではほとんど問題も起こっていないようだ。

しかし、当センターとしては、解決しなければならない問題が3点ある。第1は利用会員の開拓であり、第2は介助スタッフの開拓である。そして3点目は一人でも多くの自立生活者を出すこと。

利用会員の拡大の問題は、介助の需要と供給のバランスを安定させ、介助スタッフの方で支障のない限り、介助活動がおこなえる環境を整備していかなければならない。ためしにこの3ヶ月間の利用実績をみてみよう。

4月が3件。5月は8件。6月が6件という具合なのだ。3ヶ月の介助を内容別にみると移動介助が10件と飛び抜けて多く、次に多いのが身辺介助と仕事の介助で同数の5件。家事援助となると2件しかない。一日も早くこうしたアンバランスを解消しなければならない。

利用者の開拓はアンバランスの解消だけでなく、3点目の自立生活者を出すことにつながっていく。

二点目の介助スタッフの拡大については、現在の状況では、利用者からの依頼にすぐに対応できているとは言い難く、月に一回ほど定期的にJR船橋の駅頭で介助者募集のピラマキを行っているが、さらにタウン紙などを活用し、募集の範囲を広め、今年度中には40名前後を目標に介助スタッフを確保していきたい。なお利用者の開拓についても、同様な方法で探していくしかないだろう。船橋市から介助料の助成制度が新設された。介助の質も高めなければならない。当センターの介助派遣もこれからが本番と思う。

## センタ - の財政がピンチ！！ 船橋市に運営費への助成要望書を提出

私たちの船橋障害者自立生活センタ - は、この8月で、事務所開設満一年を迎えました。この間、事務所の改造、開設パ - ティ、自立講座、各種交流など、多くの出来事があり、介助者派遣事業も行われていますが、それとともに運営に必要な資金の問題が切実になってきました。

センタ - の維持・運営には毎月、最低30万円が必要です。事務所の家賃の支払いは遅らせられません。このためセンタ - では、4月の総会后、労組や商店街への賛助会員の拡大、財団等への補助申請、ジュガ - ル硝子容器の通信販売、さらには

街頭カンパなど様々な資金活動に取り組みましたが、財政状態は悪化の一途をたどり、最近はずいに「緊急カンパのお願い」を出すまでになってしまいました。

幸いこの「お願い」には皆さんから温かいお返しが寄せられており、スタッフ一同、心より厚くお礼申し上げます。

しかし、これはあくまで一時逃れのものであり、根本的な解決にはなりません。そこで去る6月、運営費に対する公的助成金の実施を求める要望書を船橋市に提出、大橋和夫市長に回答を要求しています。要望は「船橋センターの維持と安定した活動の継続のため、運営に要する費用の一部を速やかに助成してください」というもの。来年度の市の予算での実現を目指しています。

しかし、当面は自力でしなくてはなりません。その際、今後とも「緊急カンパ」のようなお願いをすることもありますが、ご理解頂きたいと思います。そしてなお一層のご支援をお願いいたします。

## 明日に向かって歩きだした亀

(事務局スタッフ) 葛生 香織

今まで色々な事がありましたが何よりも一番悲しかった事は、“てんかん”という病気、複雑部分発作になってしまった事です。

もう少し早く行けば大丈夫だったかもと聞いたときはショックでした。

小学校2年生の春に40度の高熱を出し、意識がないまま入院しました。私は、自分が病気だったなんて知りませんでした。ただ不思議に思っていた事があります。クスリを朝夜、必ず飲まされていました。「何で!？」と聞いた事もありました。親は「ちょっとね飲んでいなければいけないのよ」と聞いた覚えがあります。私はずーっと飲んできて、小学校の高学年になって少しずつ自分が“てんかん”という病気とわかりました。中学校を卒業してから発作が増えて、疲れるくらいでした。今は前より発作は、減りました。

そして少しでもいいから、何かやりたいと思いました。近所で福祉関係の仕事をしている人がいて相談にのってもらいましてセンターを紹介していただき本当に良かったと思います。山本さん、宮尾さん、杉井さんを見て、えらいと思いました。

私ももっともっとがんばらなければいけません。私自身、大人になって覚える事がいっぱいあります。今の私は何もできなくて自分が情けないと思うときがあります。

そして、言い訳になってしまうかも知れませんが、"てんかん"の病気をもつ仲間の人に聞きましたら、私と同じように(みんなではないけれども)動作が鈍いそうです。覚えるまでが大変です。覚えたと思ったらすぐ忘れてしまいます。センターでも動作が鈍くて、やる事が遅い事を少しでも解って下さい。

私が今一番自分に言い聞かせてる事があります。

1. 明るく楽しく話す
2. 積極的になる
3. 自然のままの態度でいる
4. 聞き上手になる

事を心がけています。病気を持っていてもがんばってやっていこうと思います。

## ニューヨークだより

(運営委員) 木俣 篤

暑中お見舞い申し上げます

皆様お変わりございませんでしょうか？ 私の方はようやく周りを見る余裕ができてきたと言った所であります。 っと言うわけで気が付いたところを記します。

ご存知とは思いますが、N・Yを走る公共バスには全て車椅子のマ-クが付いております。がっ！！実際に利用している方は余り見かけません(少なくとも私がバスに乗っているといるときには一回だけ)。

また、地下鉄についてはそれらしい設備もなく駅員も殆どいない(キップ売りのおばさんが防弾ガラスの売り場の中に1~2人 構内にはゼロ。車掌がたまに乗っている程度)。

の為、利用している人はみた事がありません。TAXIなどにはマ-クは入っていませんがお金さえ払えば(チップを多く払えば)乗せてくれるかも知れません。

余談になりますがN・Yでは自転車に乗ってる人は殆どいなく(置くとすぐ盗まれ

る)、その結果自転車屋、バイク屋の類は全く見あたりません。従って車椅子とかがパンクしたり故障したりしたら大変だろうな - と思いました。

それではまた!!

## 真夏の労働の厳しさを知って思う事

(運営委員) 渡辺 由美子

私は、いくつかの福祉活動をしています。「船橋障害者自立生活センター」もその一つです。これからも地道にできる事を果たしていこうと考えています。

今現在の生活を充実させたいと思いやっています。生活をなりたたせるお金となれば自分で稼ぎだすのは無理ですが生まれて初めて周囲の様々な人の力を借りながら活動した結果次の月の月初めには「お金」を得られる仕事が持てた喜びを感じています。同時に障害者が労働する厳しさも痛感しています。具体的には障害者の作業所で作ったパウンドケーキを販売するのですが、イベント確保と駅頭販売の時人の理解を得る難しさに悩んでいます。この夏の猛暑の中の炎天下での販売は体力的に大変きついですが、少し涼しくなったら自分のお金で日頃協力してくれているボランティアと共に旅に出たいと思っています。

## 夏のシドニ - へ行ってみませんか!

観光兼ねて、DPI世界会議参加ツアー - を行います

当センタ - では7月中旬、今年12月にオーストラリアのシドニーで開かれるDPI(障害者インターナショナル)世界会議に参加する海外ツアーを計画し、その要領を発表しました。会員の皆さんにはお送りしましたので、すでにご承知の方も多いたとは思いますが、このツアーは東京の旅行社アイ・ジー・エス・トラベル(日新航空代理店)が担当、12月2日から9日まで、10日間の日程で行われます。

往復の飛行機は全日空のジャンボ、現地では会議に参加のほか、シドニー市内の

観光と周遊、障害者施設の見学なども予定していますが、最近になってこれまで決まっていなかった世界会議のスケジュールなども、少し伝わってくるようになりました。

それによると、会議の開会は12月5日で、最初の4日間は92年のバンクーバーでの世界会議以降のDPI自身の活動などを総括しますが、これには全員が参加できます。5日目は、今後のDPIの方針が討議されますが、これには各国の正式メンバーしか討論に加われません。

ですから、船橋センターのツアーとしては、前半4日間の中に会議の分散会（障害者の人権擁護、などテーマにいくつかの分散会とか）に参加する一方、要領にも明記のブルーマウンテン訪問などのほか、中部オーストラリアのゴールドコーストへ足を伸ばすことも検討しています。

費用は、一人30万円。9月末が申し込みの締め切りです。船橋センターPRの意味を持つこの企画。ぜひ、みんなの力で成功させるため、参加申し込みとご協力をお願いします。

## 賛助会員になって下さい！！

まだ入会されていない方へのお願い

私たちのセンターは今年、年間750万円の予算をつくりました。これは色々計算すると、そのくらいの経費がかかるからです。

ところが、アテにできる収入は200万円もありません。そのため、総会では「なっていない」と叱られました。しかし事務所の維持だけでも、年間400万円近くがどうしても必要なのです。現在、センターではまだ会員になっていない方で、センターの趣旨や活動に共鳴、主として経済的支援をしてもいいとお考えの方や団体、法人などに対し、賛助会員にお入り下さるよう、お願いの取り組みをしています。

会費は年間、個人が一口3000円、団体が5000円で、一人、または一団体に、何口でも入れます。

会員としての権利は正会員と特に変わらず、発言権や審議権も同じです。ただし、全体的な位置づけということでは、率直に言って明確でないところもあり、来年までに見直す予定です。

このニュー - スでは、中に賛助会員の入会申込書も同封させていただきました。自立生活センタ - の存立の成否は、財政力の有無にかかっています。どんな理想や抱負があっても、お金がなくては何もできません。

このニュー - スをごらんになった方で、まだセンタ - の会員になってない皆さんは、お一人残らずお願いの対象です。団体、個人を問わず、ぜひ、賛助会員にご入会ください。そして船橋障害者自立生活センタ - を支えてください。

## カンパのお礼

この4月以降、以下の皆様から温かいカンパをいただきました。厚くお礼申し上げます。（8月8日現在、順不同）\_\_

山田晴子様	清水光明様	長谷川清次郎設計事務所様	成田泰子様
小林よし子様	ふれあいHOUSE 中村様	誠光園様	佐久間良夫様
八街自立生活センター様	関根義雄様	山本昇様	市民ネットワーク ちば様
金綱喜代美様	加来雅一様	菜の花の会様	三堀八重子様
深沢淋様	千葉県建築士会船橋支部様	竹内笑様	益子由里様
ジュガール様	宮原幸弘様	宮原光子様	京葉カッター工業様
武藤貞夫様	野村孝子様	船橋市社会福祉協議会様	松平敏子様
山田一郎様	(株)シンプル	森美智子様	前田満子様
葛生香織様	山田みゆき様	高橋基子様	吉川清様
加藤和子様	鈴木幹子様	中沢由記子様	高木恒雄様
小出美智子様	藤長薫様	木村久枝様	渡辺慶子様
石井成司様	小出敬子様	増田高子様	丸山久子様
赤樫節子様	木村律栄様 川嶋昭宣様	ほう連会長 鷲見千代子様	船橋市長 大橋和夫様

## 事務局の夏休みのお知らせ

事務局では8月13日から21日まで、夏休みとさせていただきますので、ご了承ください。